

事業所名

Picowill久我山

支援プログラム

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		発達特性は障がいではなく、「子どもの個性・特徴」だと考えています。それぞれの特性にあった関わり方をすることで強みを伸ばし、また些細な変化にも気づき成長を促していく環境を提供します。										
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのニーズや課題に応じた療育 「実生活に活かせる経験」に重点を置いた支援 保育所等訪問支援の充実 										
営業時間		10	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 本人の体調に留意しながら基本的な生活習慣を整えられるよう支援します。 お子様の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化します。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びや遊具を使用した活動の中で、姿勢保持や身体の使い方の向上を支援します。 活動を通して、指先の細かな操作や両手動作・道具使用の向上を支援します。また、使いやすい道具の検討も行っています。 感覚特性とそこに基づく行動の評価を実施し、環境調整や対応方法・道具（イヤーマフ等）の支援を行います。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 支援者の声掛けのもとルールのある遊びや課題を理解し、他者と一緒に行動できる様支援します。 一人一人の認知の特性を理解し、それを踏まえ自分に入ってくる情報を適切に処理し行動できるように支援します。 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 注目する、共に見る、模倣する、要求など、コミュニケーションの基礎の獲得ができるよう支援していきます。 お子様の得意・不得意、ご家族のニーズなど総合的なアセスメントを通し、言葉だけではなく、表情や身振りなど、お子様に合った方法を考え支援していきます。 お子様の発信に込められた働きかけを受け止め、伝わった経験を重ね、安心した環境の中で自分も相手も大切にコミュニケーションが学べるよう支援していきます。 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 欲求を適正に満たし安定した環境の中で自分からやってみようという気持ちを育てるよう支援します。 他者とのふれあい遊びや見立て遊び、ごっこ遊びを通して自己の理解や社会性の発達を促すよう支援します。 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長や発達を保護者と共有しながら随時相談援助を行なっていきます。（専門職の勉強会・就学についての勉強会・保護者交流会・保護者面談など） 支援を通してその場での助言・援助を行ないます 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保育所等への配慮された移行を行います。 具体的な移行を想定した専門職による子どもの発達相談に応じていきます。 				
地域支援・地域連携		地域に属した関係機関（所属園・医療機関・福祉教育機関など）と連携を行なっていきます。				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 支援の質の向上に繋げるために、計画的に研修に参加又は研修の機会を確保します。 				
主な行事等		保護者面談										